

は じ め に

昨年は、1948年(昭和23年)の国連総会において「世界人権宣言」が採択されてから60周年という節目の年でした。また、2005年(平成17年)から開始された「人権教育のための世界計画」では、初等中等教育に焦点を当てた第1フェーズ(2005年～2007年)の期間が、2年間延長され、現在、世界各国が計画の実施に取り組んでいるところです。

我が国においては、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」等に基づき「人権教育・啓発に関する基本計画」が策定され、人権尊重の精神の涵養を目的とした人権教育が推進されてきました。また、学校における人権教育の効果的な指導方法等について調査研究がすすめられており、平成20年3月には、文部科学省から「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」が公表されました。

和歌山県教育委員会では、このような国内外の人権を取り巻く諸情勢を踏まえ、「和歌山県人権教育基本方針」に基づき、人権教育の推進に努めているところです。

昨年度、「人権教育学習プラン」プロモート委員会を開催し、9校のプロモート校の指導計画の改善・充実に向けた取組の経緯等を掲載した資料集『人権教育学習プランー実践事例集ー』を刊行しました。

本実践事例集は、『人権教育学習プランー実践事例集ー』の第2作として、新たなプロモート校9校の指導計画の改善・充実に向けた取組等を掲載しています。これまで刊行してきた資料集と併せて活用され、人権教育の推進に取り組まれることを期待しています。

最後に、本実践事例集の発刊にあたり、ご協力いただきました関係者各位に対して、厚くお礼申し上げます。

平成21年3月

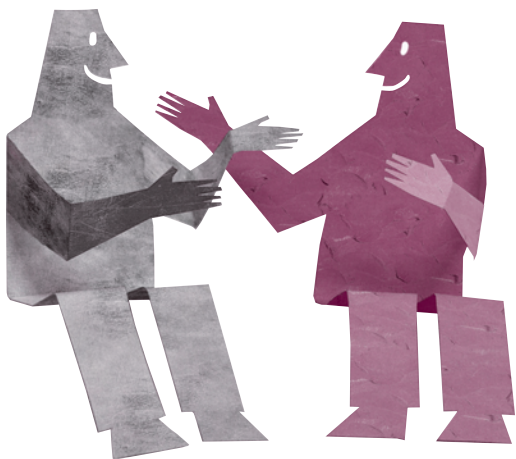
和歌山県教育庁生涯学習局
生涯学習課長 萩原 勝 則



CONTENTS

1	—	はじめに	
3	—	活用にあたって	
11	—	指導計画例	
13	—	小学校における指導計画例	
14	—	●伸びよ仲よく	紀の川市立調月小学校
26	—	●愛のふるさと大新	和歌山市立大新小学校
36	—	●児童の実態に応じた人権教育の推進	白浜町立白浜第二小学校
49	—	中学校における指導計画例	
50	—	●これまでの取組を検証し、さらに充実した人権教育を	かつらぎ町立笠田中学校
58	—	●人権教育の学習プログラムの開発・充実に向けて	日高川町立丹生中学校
66	—	●生徒一人一人の人権が尊重される学校づくりをめざして	那智勝浦町立那智中学校
75	—	高等学校における指導計画例	
76	—	●一人一人の未来のために	和歌山県立紀北工業高等学校
86	—	●学校全体で取り組む人権教育をめざして	和歌山県立桐蔭高等学校
97	—	特別支援学校における指導計画例	
98	—	●支援学校における人権教育	和歌山県立紀北支援学校
107	—	参考資料	
108	—	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	
110	—	人権教育・啓発に関する基本計画	
117	—	和歌山県人権教育基本方針とその説明	
121	—	和歌山県同和教育基本方針	
124	—	人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕概要	

活用にあたって





1 「人権教育学習プラン」プロモート委員会の取組

県教育委員会では、各学校における人権教育の全体計画及び年間指導計画作成の取組をより一層推進するため、平成19年度から毎年9校の教頭（副校長を含む）及び人権教育担当教員に委員を委嘱し、「人権教育学習プラン」プロモート委員会を開催しています。本委員会は、9校のプロモート校が「人権教育学習プラン（人権教育の全体計画・年間指導計画）」の作成・充実に係る成果と課題を交流することで、それぞれの学校の実践の充実に資するとともに、その取組の成果を県内に普及することを目的としています。

平成19年度は小学校、中学校、高等学校各3校のプロモート校が、今年度は新たな小学校、中学校各3校、高等学校2校、特別支援学校1校のプロモート校が、以下の「指導計画作成上の留意点」を踏まえながら、それぞれの学校の指導計画の改善・充実に取り組みました。

なお、平成19年度のプロモート校の取組の経緯やその成果等は、平成20年3月に刊行した資料集『人権教育学習プランー実践事例集ー』に掲載し、県内すべての学校に配布しています。

全体計画作成上の留意点

- ①児童生徒の実態や課題を明確にする。
- ②児童生徒の実態や課題、保護者や地域の願いに即した人権教育の目標を設定する。
- ③各教科等における取組と人権教育の目標との関連を整理する。
- ④家庭や地域、関係機関等との協力や連携について整理する。

年間指導計画作成上の留意点

- ①全体計画に位置づけた目標等を踏まえたものにする。
- ②目標の具現化につながる各教科等での学習単元を位置づける。
- ③各教科等を横断した学習単元の開発について検討する。
- ④各教科等における取組の人権教育としての目標を明確にする。
- ⑤単元の設定にあたっては発達の段階等を踏まえるとともに、系統的になるよう実施時期を考える。

指導計画は年度ごとに見直しを行い、改善の必要がある場合は、全教職員の共通理解を図りながら学校全体の組織的な取組としてすすめていくことが大切です。

次に、指導計画の見直しの視点等を例示します。学校における指導計画の改善・充実に向けた取組の参考としてください。

全体計画の見直し（例）

①関係法令等

日本国憲法をはじめ人権関係法令等を踏まえている。

②児童生徒の実態等

人権教育に関わる児童生徒の実態や課題が正確に把握され、学校全体で共通認識されている。

③学校の教育目標

①②を踏まえている。

④人権教育の方針

人権教育の目標等との関係が明確に示されている。

⑤人権教育の具体的な目標

児童生徒の実態や課題を踏まえ、人権教育で育てたい資質や能力として具体的に示されている。

⑥各学年での目標

⑤を達成するための発達の段階に応じた目標が具体的に設定され、それぞれの発達の段階でどのような取組が必要であるのか明確に示されている。年間指導計画との関連が明確になるような工夫がされている。

⑦各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動（以下各教科等という）における重点目標

人権教育に関わった目標が明確に示されている。

⑧他の教育活動との関連

人権教育で育てたい資質や能力と他の教育活動との関わりが明確になっている。

⑨重点的に取り組む課題等

学校として取り組む課題等が明確に示されている。

⑩家庭・地域との連携

家庭や地域、関係機関、他の校種等と連携して取り組む視点が具体的に示されている。

⑪教職員の研修

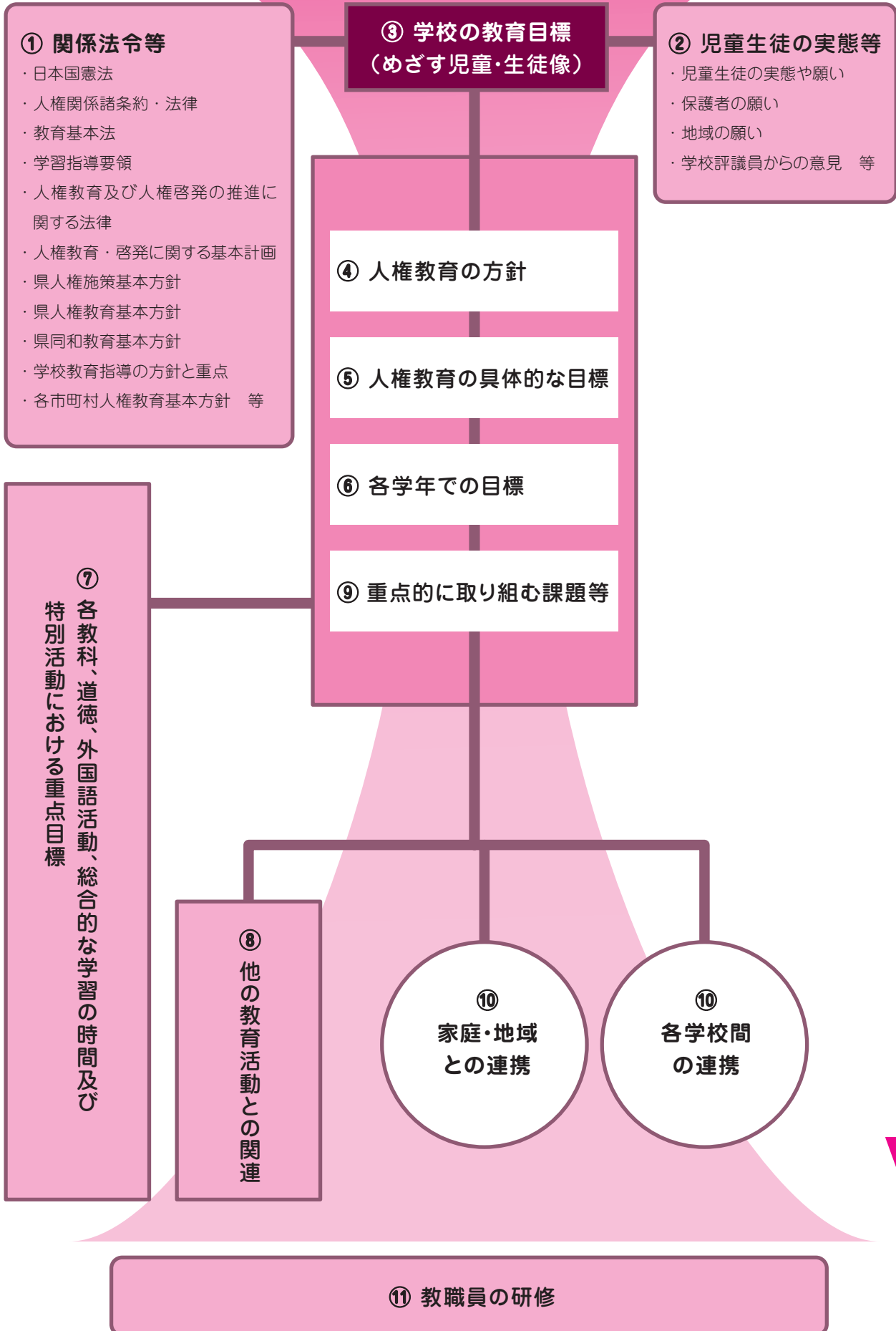
教職員の研修の目的や内容等が具体的に示されている。

※上記①～⑪はそれぞれ次ページの人権教育全体計画（例）①～⑪に対応しています。

人権教育全体計画（例）

目標の焦点を絞る

全教育活動で取り組む視点



年間指導計画の見直し（例）

- ①児童生徒の発達の段階に応じ、全学年を見通した系統的な計画になっている。
- ②人権教育の目標と単元等の目標やねらいとの関連が明確になっている。
- ③人権教育の目標に直接結びつく学習内容を含む、各教科等の単元等が位置づけられている。
- ④人権教育の目標と各教科等の目標や内容等との関連が踏まえられ、横断的に開発された単元等が位置づけられている。
- ⑤人権教育の目標達成のために開発された単元等が位置づけられている。
- ⑥教育効果を高めるため、学習内容や指導方法等が工夫されている。
 - ・「普遍的な視点からのアプローチ」と「個別的な視点からのアプローチ」の効果的な活用
 - ・参加的な学習や体験的な学習などの効果的な活用
 - ・仲間と合意を形成するなどのプロセスを重視した取組
 - ・地域教材の活用や地域の関係機関、学校支援ボランティア等と連携した取組
 - ・地域の人権学習ファシリテーターや人権課題に関わる人の外部講師（ゲストティーチャー）としての活用
 - ・視聴覚教材の活用 等
- ⑦各教科等の人権教育と関わる内容の指導時期や、地域における人権啓発の行事等の時期と関連させた取組等が位置づけられている。
- ⑧全体計画との関わりや、単元の目標やねらいの共通理解が促されるような工夫がされている。

※上記①～⑧はそれぞれ次ページの年間指導計画（例）①～⑧に対応しています。

取組の点検・評価

全体計画や年間指導計画において、掲げた目標が実現できたかどうか、学期や学年ごとに点検・評価し、次の指導につなげていく必要があります。

取組の点検・評価を行うことで、実際に展開している人権教育が自校の人権教育の具体的な目標とどのように関連しているのか、また、当該学年の目標や単元の目標をどう具体化しているのかを明らかにすることができます。

①児童生徒の発達の段階に応じ、全学年を見通した系統的な計画になっている。

	1 学期	2 学期	3 学期
基礎となる力の育み	ヘレンと共に —アニー・サリバン— 目標：より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけずに努力する心情を育てる。 教科等：道徳 (自尊感情)	②人権教育の目標と単元等の目標やねらいとの関連が明確になっている。 ⑧単元の目標やねらいの共通理解が促される工夫がされている。 ⑥視聴覚教材が活用されている。 ⑥普遍的な視点からのアプローチが活用されている。	明るい仲間（ビデオ） 目標：まわりの人の言動に関心をもつとともに、相手の立場や心情を受け止めながら、仲よく協力して生活しようとする。 教科等：学級活動 (他者理解)
人権の学びから	バリアフリーについて 目標：身近な社会に存在する人権問題について科学的な認識を深め、人権規準等に照らして多くの仲間と共に解決に向けて取り組もうとする。 教科等：総合的な学習の時間 (障害者の人権) 身分制とくらし 目標：身近な社会に存在する人権問題について科学的な認識を深め、人権規準等に照らして多くの仲間と共に解決に向けて取り組もうとする。 教科等：社会科 (同和問題)	世界人権宣言について 目標：「世界人権宣言」が作られた歴史、背景、運動について理解する。 教科等：社会科 (人権の意義・内容) ③人権教育の目標と直接結びつく学習内容を含む各教科等の単元等が位置づけられている。 ⑥個別的な視点からのアプローチが活用されている。	⑥外部講師が活用されている。 外国の人に聞いてみよう 目標：身近な社会に存在する人権問題について科学的な認識を深め、人権規準等に照らして多くの仲間と共に解決に向けて取り組もうとする。 教科等：外国語活動 (外国人の人権) ⑥仲間と合意を形成するなどのプロセスが重視されている。
行動に向けて	分かり合おう伝え合おう 目標：様々な方法を活用して、自分の気持ちや考えを他者に分かるように伝えることができる。 教科等：国語・学級活動 (コミュニケーション) ④人権教育の目標と各教科等の目標や内容等との関連が踏まえられ、横断的に開発された単元等が位置づけられている。	アサーティブトレーニング 目標：他者との学び合いや対話を大切にし、意見を調整しながら物事をすすめようとする。 教科等：学級活動 (コミュニケーション) ⑤人権教育の目標達成のために開発された単元等が位置づけられている。	交通安全ウォーキングを楽しむ 目標：地域の高齢者との交流体験をとおして親しみや信頼感をもちながら会話を楽しむ。 教科等：学級活動 (コミュニケーション・参加・参画) ⑥地域の関係機関と連携して取り組まれている。 ⑦地域の行事と関連して実施時期等が考慮されている。

⑧全体計画との関わりや、単元の目標やねらいの共通理解が促されるような工夫がされている。

全体計画に位置づけられた人権教育の目標（例）

すべての人の尊厳が守られ、自己実現が図られるよう、人権及び人権問題について理解を深め、人権が尊重される社会を築くための力を身につける。

- (1) 自分自身が価値ある大切な存在であるという感情を養うとともに、公正や公平を重んじ、他の人と共によりよく生きようとする態度をはぐくむ。【基礎となる力の育み】
- (2) 人権の意義・内容やその重要性について、理性及び感性の両面から理解を深めるとともに、自らの権利の行使とそれに伴う責任を自覚し、具体的な人権課題について学習することとおして、人権問題の解決に取り組もうとする態度をはぐくむ。【人権の学びから】
- (3) 多様な文化や個人の価値観等を尊重し、伝え合い分かり合うためのコミュニケーションの能力を高め、社会に参加する中で、多くの人と合意を形成し、問題の解決に取り組むための能力を身につける。【行動に向けて】

3 本書の内容

今年度は、新たに、小学校3校、中学校3校、高等学校2校、特別支援学校1校の計9校のプロモート校で、指導計画の改善・充実に取り組んでいただきました。9校のプロモート校では、従来の指導計画を丁寧に点検・評価し、さらに充実を図るために全体計画の作成や改善、年間指導計画の改善・充実に取り組みました。

全体計画には、各校の児童生徒の実態や課題に即した人権教育の目標が設定され、人権教育で児童生徒に育てたい資質や能力と各教科等や他の教育活動との関連等が示されています。

また、年間指導計画には、人権教育の目標と学習活動等の関連が明確にされ、学校全体で指導内容やその目標等についての共通理解が図られるような工夫がされています。さらに、効果的な学習単元の開発等の取組についても紹介されています。

本書は、昨年度刊行した『人権教育学習プランー実践事例集ー』の第2作として今年度の9校のプロモート校の取組の経緯と成果物及び今後の課題等を詳細に掲載しています。県内のすべての学校において本書が活用され、人権教育の指導計画の改善・充実を図ることで、それぞれの学校の人権教育の取組がより一層推進されることを期待しています。

参考となる資料



『人権教育指導者用てびき 気づく・学ぶ・広げる人権学習』平成16年3月刊行

参加型の手法の紹介やアクティビティの紹介、個別の人権課題に関する資料等を示しました。



『人権教育学習プラン 対話ですすめる人権学習』平成18年3月刊行

全体計画、年間指導計画の具体的な作成方法等を示し、各校での指導計画の作成・改善を提案しました。



『人権教育学習プログラムー事例集ー』平成19年3月刊行

発達の段階に応じた単元目標を設定した、個別の人権課題等についての学習単元例を示し、新たな学習単元等の開発や、年間指導計画の充実を提案しました。



『人権教育学習プランー実践事例集ー』平成20年3月刊行

平成19年度プロモート校における指導計画の改善・充実に向けた取組事例等を示しました。